

## KLC 研究ブランディング事業報告【障害のある児童・生徒への科学教育事業】

2021年12月22日（水）坂本

### 【タイトル】

熊本市立北部東小学校での科学教育事業の実施について

### 【本文】

本学人文学部人文学科児童教育コース坂本昌弥教授（理科教育学）が、本学の研究ブランディング事業の一環として、2021年12月22日（水）熊本市立北部東小学校において「児童の興味・関心を育む科学教育事業」を実施しました。

3年生理科「明かりをつけよう」の単元で、豆電球、乾電池、導線をどのようにつなぐと明かりがつくかを、様々なつなぎ方を比較しながら調べ、さらに液体窒素で冷却した回路では、明かりがどのように変化するかについて実験を通じた授業をおこないました。

-196℃の世界に児童らは興味津々。超低温になったことで、明るく光るようになった豆電球を体感したほかにも、バナナで釘を打ったり、花を凍らせたり、青い液体酸素の性質を実験したりと、物性の不思議さに目を輝かせて授業を受けてくれました。



図1 超低温の世界を体験



図2 チャイムが鳴っても興味津々